

株式会社
栃本天海堂柏原工場



【会社概要】
■所在地 丹波市柏原町大新屋
新井工業団地
■電話番号 0795 - 72 - 3515
■主な事業 生薬の製造（加工）・販売
■従業員数 42人

何をしている会社？

（株）栃本天海堂は生薬を製造している会社です。生薬とは、薬効をもつ天然の植物や鉱物などをそのまま、あるいは切断、乾燥などの簡単な加工をして、薬として用いられるものをいいます。主に、混ぜ合わせて漢方薬をつくる際の材料として使われますが、食品の材料として使われることもあります。同社の生薬は、葛根湯などの漢方薬のほか、大手飲料メーカーのお



完成した生薬は機械で包装し、検査室へ送られます



出荷されるすべての製品が検査室で入念に検査されます

茶をつくる際にも使用されるなど、幅広い分野で取引されています。

品質管理へのこだわり

国内に流通する生薬のうち、海外から輸入されているものは約9割。そのため、同社では、原料の安定確保を図るべく、薬用植物の自社栽培を手掛けています。また、品質検査に厳格な基準を設定しているのも特徴です。法定の基準に加え、独自の

基準を追加。そうして、原料の残留農薬を適正に管理し、安全で安心して使用できるものだけを供給しています。随時、分析機器を導入し、今では約450種類もの農薬を管理できる体制を整えています。

豊富な品ぞろえで他社をリード

古来より、漢方薬をつくる際には、薬の効果を高めるための処方が研究されてきました。症状に合わせて生薬を混ぜ合わせたり、新たな生薬を加えてみたりと、その組み合わせは無尽大です。同社では、約1,000種類の生薬を扱っており、これらの基原（生薬の基となる植物種）の鑑定や成分の研究を継続しています。ここまでの数を扱う会社は、国内に数社しかなく、多くの顧客の要望に応えています。

市長からのメッセージ
【こちら市長執務室】



1月29日、内閣府の防災会議が設置する「第2回総合的な土砂災害対策検討ワーキンググループ」に出席し、住民の適時適切な避難方法、発災後の迅速な復旧策などについて話し合いました。



去る、1月29日、内閣府の防災会議が設置する「第2回総合的な土砂災害対策検討ワーキンググループ」に出席しました。この会議は、昨年8月に発生した丹波市や広島市での土砂災害を受け、災害時の人命保護、避難情報の伝達や適切な行動計画など、総合的な対応策を検討し、来年6月をめどに取りまとめを行うものです。各大学教授や和歌山県知事、各省庁の担当室長など、私を含む19人のメンバーで構成され、昨年12月に発足しました。

「テーマ」豪雨災害の教訓を日本の防災力向上に生かす

私は、12月4日の第1回会議において避難情報の伝達方法についてふれ、「いざ」といときには恐れることなく避難情報を発令することが大切であり、そのためには、気象情報を注視するとともに、各支所に配置する職員との緊密なやり取りのなかで、適切な判断材料をもつことが必要」と話しました。結果的に、8月16日丹波市豪雨災害では、土砂崩れが発生する前に避難勧告を発令することができました。また、夜間の発令であったことから、家の2階に垂直避難するよう呼びかけましたが、多くの方がその内容に

従って行動いただいたことから、人的被害を最小限に止めることができましたと感じております。

次に、1月29日の第2回会議では、発災後の迅速な復旧策などについて話し合いました。市内全域をみると、土砂災害発生の恐れのある力所が700カ所あります。また、兵庫県には1万1千カ所、全国となると52万カ所の危険箇所があり、今のペースで整備を進めると70年から100年もの歳月を要するといわれています。そのため、早急に国の方針を定め、

対策に乗り出す必要があることを提言しました。また、危険箇所整備にかかる公共事業のうち、市が単独で行う事業についても国による財政措置の必要性を訴えたところです。

ワーキンググループの一員として、私は、丹波市豪雨災害から得た教訓が日本の防災力向上に生かされるよう微力ながら尽力すること、また、丹波市の被災の実状をしっかりと国に伝えることを肝に銘じて取り組んで参る所存ですので、市民のみなさんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

INTERVIEW

トップからのメッセージ

工場長 田上 正男 氏



柏原工場は業界初のGMP適合工場として操業を開始しました。GMP適合工場とは、すべての工程で安全と品質が保たれている工場を意味し、機械だけでなく従業員も優秀でなければ与えられるものではありません。

現在、この工場の従業員は約40人で、すべて丹波市在住者。地元の従業員に支えられながら会社は成長しています。今後、この工場での新たな事業展開を計画していることから、高校生、大学生を問わず、地元の方を積極的に採用したいと考えています。明るく前向きにがんばる人からの応募を待っています！

おさななじみの二人です！



濱戸 茜さん(22) 前田瑞希さん(22)

◆入社2年目 前田さん
濱戸さんから会社の人間関係のよさについて聞いていたので、思い切ってこの会社に入社を決めました。何より、一緒に仕事ができることが楽しいです。

◆入社4年目 濱戸さん
最近、特例で昇給したことがとてもうれしかったです！新たな検査方法を会社に提案し、会社が採用してくれました。努力した結果を会社が認めてくれるので、やりがいを感じます。

■水道部からのお知らせ
水道施設災害の現地査定が終了しました



新友政第4水源（市島町中竹田）で災害復旧工事の査定を行う国の検査官。

平成27年1月29日・30日の2日間、厚生労働省健康局所管の災害査定の実地検査が市島地域で行われました。

市では、丹波市豪雨災害で被災した鴨阪浄水場の災害復旧工事において、新友政浄水場（市島町中竹田）にマンガン除去装置を設置し、水質基準を下回るマンガン濃度0・005mg/l未満に浄水し、竹田地区と前山地区への配水を再開。1,502世帯の断水を解消しました。

今回の査定を受けて、水道施設災害復旧費の申請額4億3千3百万円のうち、3分の2が国の補助として認められる予定です。